



山本会長

# 情報モラル教育 (宇和島版) の実施と推進に向けて

PTA

# うわじま

宇和島市PTA連合会

会長 山本 太一

第22号

H.29. 3.10

宇和島市PTA連合会では、本年度「情報モラル教育」について、特に力を入れていくところとあります。昨年の10月、宇和島市PTA研究大会において、この分野に精通し全国的に活動されている石川千明氏を奈良県から講師としてお招きし講演・研究会を開催しました。

演題は、「スマホ時代の子どもたちに大人ができること〜家庭でのルールづくりと子どもが安心できる声かけ〜」。急速に普及したネット・スマホによりSNSトラブルやネット依存の低年齢化が進んでいるなかで、家庭、学校、地域での声掛け、取り組み、ルールづくりについて、わかりやすくトラブル・注意点を解説してもらいました。

ICTの世界は、地域間における教育格差に限らず医療格差の解消にいたるまで様々な可能性を秘めた分野でもあり、私たちの日常生活におい

ても便利で欠かせないものとなつていきます。しかし、その反面、その技術進歩にモラルや法律が追いつかず、様々なトラブルや被害が発生しています。子どもたちを守るために無関心でいいわけではないけれど、どう声かけをすればいいか解らない。何から手をつければいいのか解らない。そういったときに、「子どもの困った」に気がついてやれる大人になるにはどうすればよいのだろうか。

宇和島市PTA連合会では、その状況に対処すべく、ネット・スマホの宇和島版ルール(宣言)の今年度中の作成に向けて、宇和島市教育委員会、小・中学校校長会、生徒指導研究委員会等と連携し、保護者、児童会・生徒会からの意見等も踏まえながら議論を深めているところです。子どもたちを守り育てる「情報モラル教育」。その実施と推進に向けて、宇和島市内PTA会員の皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

宇和島市PTA連合会

会長 山本 太一

## スマホ利用のルール作りに向けて

平成28年12月10日(土)、きさやや広場・市民ギャラリーにて、宇和島市内のほぼ全小中学校の代表児童・生徒による「SNS利用を考える子ども会議」が行われました。会議は事前に提示されていた内容に関して、それぞれの意見を発表するグループワークとそのグループでの話し合いをもとにした全体会の二部構成です。

事前に各学校の児童・生徒の意見をまとめたものをもとに、自分の言葉で伝えたり、独自のルールをもつ中学校の生徒が発表したりと活発な意見交換がされました。意見の違いなどはお互いが納得するように話し合い、様々な意見を聴く

ことで新たな考え方や知り得たことなどの発見もあったと思います。私も今回参加させてもらい、子どもたちと大人の意見の相違など多くを気づくことができました。

今回の会議は、宇和島市独自のスマホルール作りの土台となります。各学校・家庭に持ち帰り、SNSに関する話し合いの参考にして、少しでも興味をもってもらえたら、一部の大人の押し付けのルールでなく、全ての保護者、児童・生徒、学校、地域で共有するルールができるのではないかと思います。

宇和島市PTA連合会

副会長 中山久美子

## SNS利用を考える子ども会議に参加して

先日開催された「SNS利用を考える子ども会議」でも感動したことがあります。それは、宇和島市の小中学生がスマホの利用について、真剣に話し合えたことです。使用する場所や時間について多くの意見が出ました。その中でも大いに賛同したのは、「周囲の人の迷惑にならない場所で使用する」というものでした。

昨年、ポケモンGOというアプリが流行し、近隣住民の迷惑になったり、公共交通機関の運転手が遊びに興じて交通

事故を起こしたりしたニュースを何度も見ました。近い将来、私もスマホを使うようになったら、公共施設では使用を控え、他者に迷惑をかけない場所での使用を心掛けます。

スマホは私たちの生活を快適にしてくれる便利で楽しいツールですが、それを使う人のモラルが最も重要です。家庭でルールを決め、一人一人がマナーを守って利用するようにしていきたいと思えます。

宇和島市立城北中学校

三年 脇本晃太郎